



# みどり

令和6年1月31日  
調布市立緑ヶ丘小学校  
校長 鳥居 圭

E-mail midorigaoka-sho@chofu-schools.jp

## 「寒いね」と話しかければ 「寒いね」と 答える人の いるあたたかさ

主幹 教諭 宇田 圭佑

俵万智の歌集「サラダ記念日」のなかの一首です。

この冬は暖冬といわれていましたが、2月に入り、やはり冬の厳しい寒さを感じます。しかし、寒い冬でも、ちょっとした言葉掛けや信頼する相手との何気ない会話で温かい気持ちになれるのだという、人の絆をこの歌は伝えてくれているように感じます。

そのような、人と人とのコミュニケーションの第一歩は、挨拶です。

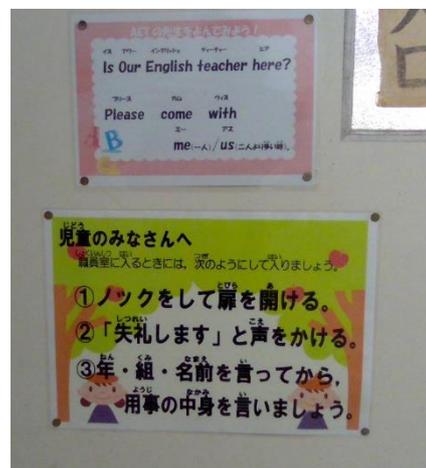
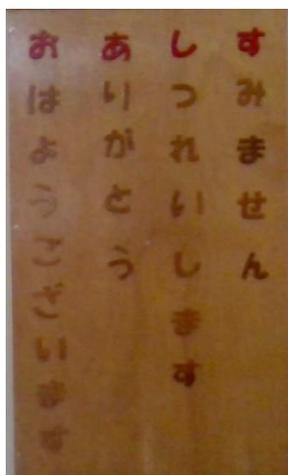
20年前ですが、友人の家にホームステイをしながら冬のパリで1か月過ごした時のことです。

街で店に入ってもまずは「Bonjour」（こんにちは）と店員さんに挨拶をしますし、トランクを引きながら歩いていると、「Bon voyage」（よい旅を）と見知らぬフランス人から元気に声を掛けてもらい、「Merci」（ありがとう）と答えたこともありました。

日本でコンビニエンスストアに入るときには挨拶はしませんし、知らない旅行者の旅の幸を大声で祈ったりはしませんが、文化や状況、TPOをわきまえた挨拶をすることやコミュニケーションをとることは、国際化や多様化がすすむ社会の中で大切な力ではないでしょうか。

さて、12月に保護者の皆様にご協力いただいた「教育活動に関するアンケート」の項目のなかに「お子さんは、すすんで挨拶する習慣を身に付けている。」がありました。実は、今年度、同じアンケートを教職員にも行いました。アンケートの結果を見ると、保護者も教員も挨拶については、まだまだ子供たちに伸びしろがあると感じているようです。

緑ヶ丘小学校の子供達は、大人から挨拶をすると、しっかり挨拶を返せる子が多いので、次は先手挨拶です。自分から挨拶できた場面で子供を褒めて、ご家庭と学校とですすんで挨拶のできる子供を温かく育てていけたらと思います。今年度もあと2ヶ月ですが、どうぞ、よろしくお願い致します。



<校内の挨拶に関わる掲示物>